

岡山県  
ごみゼロガイドライン  
～ばいじん・燃え殻編～  
概要版



◇写真は燃え殻から製造されるセメント原料

平成17年3月



## 1 本ガイドライン策定の趣旨

県では、岡山県循環型社会形成推進条例の規定に基づき、平成16年度は産業廃棄物の「ばいじん」「燃え殻」を「循環資源」として指定し、発生抑制等(排出抑制等)に関する指針「ごみゼロガイドライン～ばいじん・燃え殻編～」を策定しました。

### 岡山県循環型社会形成推進条例の規定の概要（第20条～第22条）

- ①知事は、県内で多量に排出される循環資源を指定する。
- ②知事は、指定した循環資源の排出抑制等のため、排出抑制等の目標、事業者が取り組むべき事項、必要な県の施策等を定めた指針を策定する。
- ③指定した循環資源の排出事業者は、指針に沿った取り組みを行うよう努める。



## 2 循環資源の指定

平成14年度には「汚泥」を、平成15年度には「鉱さい」を循環資源に指定して、発生抑制等に関する指針を定めました。今年度(平成16年度)は、「ばいじん」「燃え殻」を循環資源に指定しました。

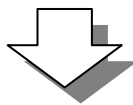
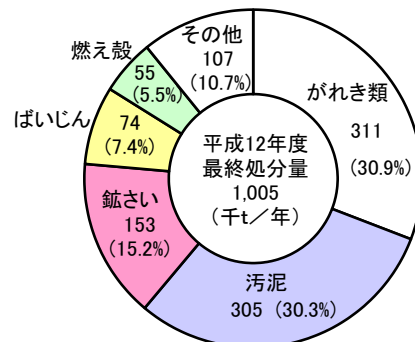
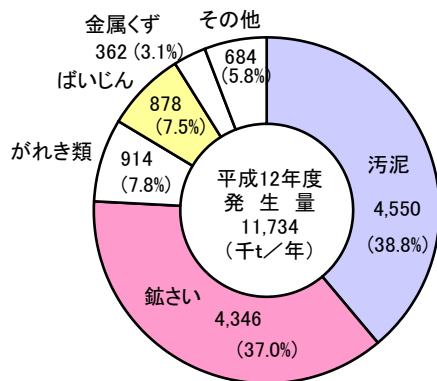
### 岡山県における産業廃棄物の特性

#### 指定理由 1

ばいじんは、がれき類を除けば汚泥、鉱さいに次いで多量に発生している。

#### 指定理由 2

ばいじん、燃え殻は、がれき類を除けば汚泥、鉱さいに次いで多量に埋立されている。



循環資源の指定：

ばいじん

燃え殻

(平成16年6月4日指定)

ばいじん

燃焼炉等の上部から排出されるもので集塵機により集められたもの

燃え殻

ばいじん以外の燃焼炉内排出物で主に炉の底部から排出されたもの



### 発生抑制等の目標

○ばいじん、燃え殻の発生抑制等の目標は、岡山県廃棄物処理計画の目標を基に設定し、これを燃原料由来、廃棄物由来別に「発生抑制・資源化率」で表示しました。

目標設定の区分	発生の状況	ばいじん、燃え殻の発生要因となるもの	発生事業所
燃原料由来	ばい煙の発生施設（ボイラー、溶鉱炉など）から排出されるばいじん、燃え殻	石炭 石油 鉄・非鉄金属原料 廃棄物以外の燃原料	排出事業者
廃棄物由来	産業廃棄物の焼却炉から排出されるばいじん、燃え殻	廃棄物	排出事業者 焼却事業者

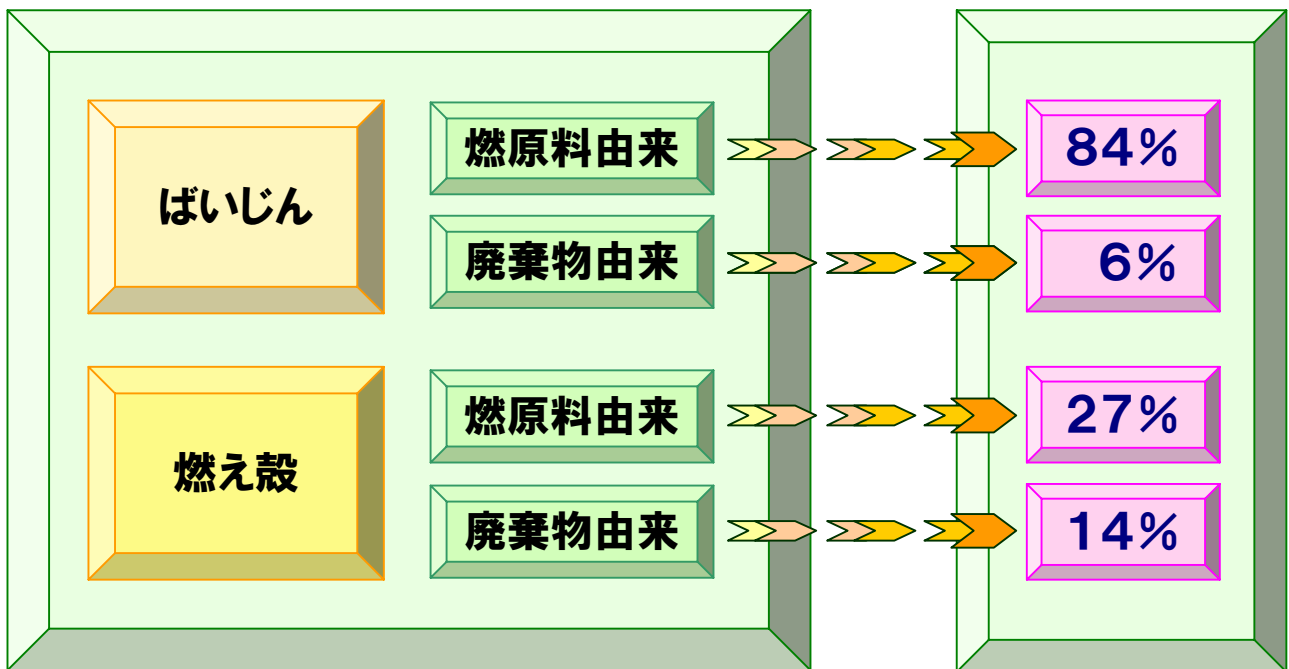
○発生抑制・資源化率は、平成15年度の発生量に対する発生抑制等の量の割合で表します。

◎平成20年度を目途にこの目標が達成できるよう努めてください。

なお、目標を達成している場合は、現状を維持向上するよう努めてください。

循環資源

発生抑制率  
資源化率



注1) 燃原料由来：平成15年度の発生量に対する割合。

注2) 廃棄物由来：平成15年度の間処理後量に対する割合。

注3) 製造ラインの増設・廃止などにより発生量が大幅に増減する場合は、直近年度（増設・廃止後）のばいじん・燃え殻発生量又は中間処理後量に対する割合。

#### □ 発生抑制・資源化率の計算式

$$\text{発生抑制・資源化率} = \left( 1 - \frac{\text{当該年度の埋立処分量}}{\text{平成15年度のばいじん・燃え殻発生量}^*} \right) \times 100$$

\* 廃棄物由来の場合は中間処理後量



## 4 県民の取組

- 循環資源の循環的利用を促進するために不可欠な廃棄物処理・リサイクル施設の設置及び運営管理について、正しい理解に努めてください。
- 製品等の購入に当たっては、岡山県エコ製品のように環境に配慮した物品を積極的に選択するなど日常生活・消費行動を通じて、循環型社会の形成に自ら努めてください。
- 県及び市町村が実施する循環型社会の形成に関する施策に対して、地域の構成員として積極的に参加し、協力してください。



## 5 事業者の取組

- 発生抑制や資源化の取組事例を参考に、本ガイドラインの目標の達成に努めてください。
- 現在すでに本ガイドラインの目標を達成している事業者においては、より高い目標を掲げ、発生抑制等の取組を一層促進するよう努めてください。

### 発生抑制、資源化の取組状況及び課題

#### 燃原料由来

##### 鉄・非鉄金属原料由来

《ばいじん》

- 自社の副原料として再利用されている。
- 亜鉛濃度が高い場合、亜鉛回収等が行われている。

##### 石炭由来

《ばいじん》

- セメントや土木資材の原料として再利用されている。
- ばいじんに未燃分が多いと、セメント利用に向かない（フライアッシュのJIS規格[JIS A 6201]；燃焼減量が5%以下[Ⅱ種灰]）。
- アルミナが多いとセメントや製錬所での利用が難しい。
- 重金属類の含有量は燃え殻よりも多くなる。また、石炭の産地により重金属類の含有量が異なる。
- 近年、ゼオライト化の研究が活発に行われており、今後、利用用途の開拓が望まれている。

《燃え殻》

- スラグ状態で排出される場合、重金属の溶出の問題もないため土木資材に利用されている。

##### 石油由来

《ばいじん》

- バナジウムやニッケルが回収されている。
- 未燃分が多い場合、別の事業所でもう一度燃料として利用されている。

《燃え殻》

- バナジウムが回収されている。

#### 廃棄物由来

《ばいじん、燃え殻》

- 焼却する前に分別を徹底し、できる限り資源化に努め、焼却量を減らす。
- 焼却炉の燃焼管理の徹底により、完全燃焼に努める。
- リサイクル原料としての性状の確保や性状の安定化などが必要。

○本ガイドラインに掲げる目標を効果的に達成するためには、事業者による自主的かつ継続的な発生抑制等の取組が欠かせません。このため、岡山県循環型社会形成推進条例第22条の規定により、目標の達成されていないばいじん、燃え殻の排出事業者については、発生抑制、循環的利用等の目標を盛り込んだ処理計画・実績報告等を提出していただく場合があります。

また、これらばいじん、燃え殻の排出事業者に対しては、融資制度等の県の施策、今後期待される資源化技術などの情報提供や、ばいじん、燃え殻の発生抑制等の取組が継続的に行えるよう必要な助言・指導等を行います。

○その他、県内の循環資源の循環的な利用を促進するため、県では、以下に示すような各種施策を策定し展開します。

### ① グリーン調達の率先実施

□ 環境物品等に関する調達方針を毎年度定め、これに基づきグリーン調達を率先実施します。

### ② 岡山県エコ製品認定制度

□ 循環型社会の形成に役立つ製品を「岡山県エコ製品」として認定し、広くその使用促進を図ります。(ばいじん、燃え殻関係のものを下に示します。)

### ③ 岡山エコ事業所等の認定制度

□ 循環型社会の形成のための取組が先進的、かつ、優秀と認められる県内の事業所を認定し、その取組状況を県の広報誌、ホームページ等により県民や事業者对环境にやさしい企業として積極的にPRします。

### ④ 地域ミニエコタウン事業(循環型社会形成推進モデル事業制度)

□ 循環型社会の形成を推進すると認められる先進的事業を事業者の申請により承認(岡山県資源循環推進事業)し、補助金の交付等の事業支援をします。

### ⑤ 岡山県循環資源総合情報支援センター

□ 「岡山県循環資源総合情報支援センター」を設置し、循環資源に係る総合的な情報を提供します。  
URL <http://junkan.okix.jp>

### ⑥ 融資制度等の充実と活用の促進

□ 循環資源を含む廃棄物等の3Rに関する取組に対し、各種補助金・融資制度が設けられています。

#### 岡山県エコ製品表示マーク



岡山県循環型社会形成推進条例に基づいて、「県内で現に製造・販売されている、使用を促進すべき再生品」で、県が定める認定基準を満たした製品に付けられるマークです。製品リストは、県のホームページで紹介しています。

#### 岡山県エコ製品(平成16年12月現在) [ばいじん・燃え殻に係る対象製品]

##### その他・資材

(株)富士テック

■商品名:アルファグリーン

製品の用途:浸食防止剤

循環資源:フライアッシュ(石炭灰)

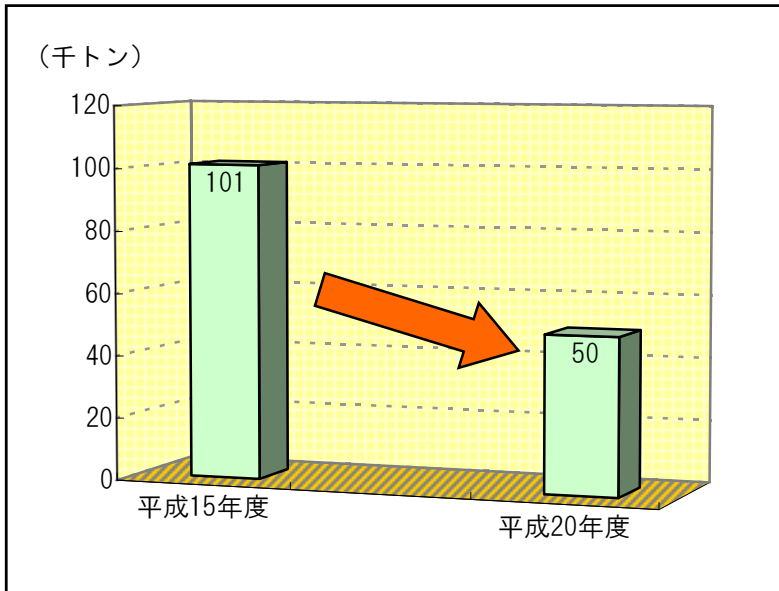
問い合わせ先・・・Tel.086-241-0063



## 本ガイドラインの目標を達成すると・・・

(ごみゼロガイドライン策定に係るばいじん・燃え殻の処理実態調査報告より)

本ガイドラインの目標を既に達成している事業者が現状の資源化率を維持し、目標未達成の事業者が目標を達成した場合、ばいじん及び燃え殻の最終処分量は以下のとおりになると試算されます。

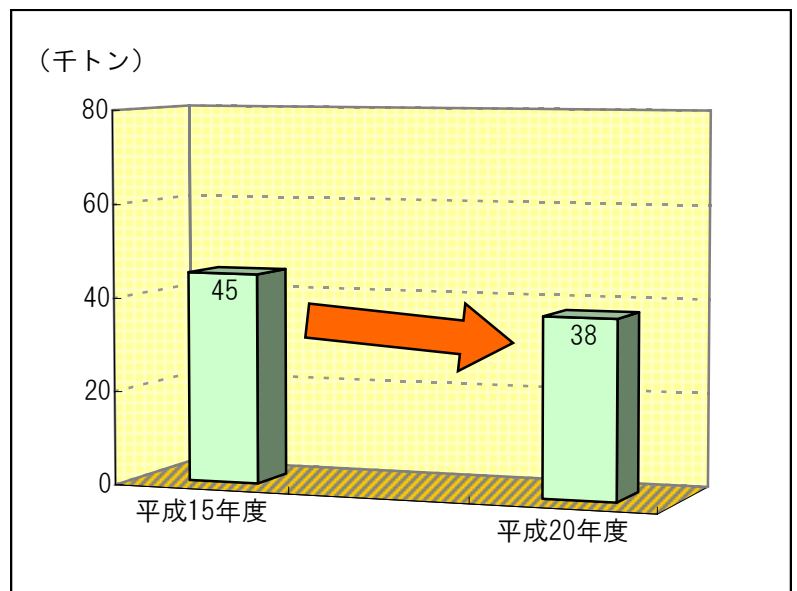


### ばいじん

平成15年度の最終処分量は101千トンです。全事業者が本ガイドラインの目標を達成することにより、平成20年度の最終処分量は50千トンまで減少します。

### 燃え殻

平成15年度の最終処分量は45千トンです。全事業者が本ガイドラインの目標を達成することにより、平成20年度の最終処分量は38千トンまで減少します。



## 岡山県生活環境部廃棄物対策課

〒700-8570  
岡山市内山下2丁目4番6号

Tel : (086) 226-7306  
Fax : (086) 224-2271  
E-Mail : haikibutu@pref.okayama.jp

